

校訓「立志・勉勵・自主・友愛」

- ・自らの可能性を信じ、開拓し、目標を高く掲げ、その実現に向かって取り組む。
- ・謙虚であることと懸命に努力を重ねることの大切さを知り、困難に立ち向かう姿勢を培う。
- ・自らを見つめ、じっくり考え、適切な判断力と健全な批判力を養い、責任を持って行動する。
- ・自分のまわりの人やものを大切にするとともに、想像力を高め、他者を思いやる。



最高目標「自立する18歳」の育成

生きていくための知識・教養に裏付けられた判断力と行動力を備え、人や社会と関わりあう中で育まれる想像力と創造力を活かし、自他の存在や価値の尊さを感じつつ、自己実現を図ろうとする生徒を育成する。それは、学校による学びの機会の提供と指導、そして生徒の姿勢と行動によって構築される「豊かな学校」において実現される。

豊かな学校

THE NEST OF YOUTH -若者たちが飛翔する場-

集う人が考えるあたまと感じるころを持ち、自分や他者、社会や世界にとって「豊かさ」とは何かを一人ひとりが考える。疑問をもち、問題の解決に向けて取り組む。他の存在や価値に触れ、自己のあるべき姿を追い求める。それらを可能にするために学び、思考し、表現し、振り返る。堀川高校はその時に必要となる「ことば」を大切にしたい。

◆ 3つの指導の柱

(学校による機会の提供と指導)

- 生徒に教養の獲得を促す指導
 - ・授業等の指導に関する研究、実践、改善を行う。
- 自己実現を図る進路目標の設定と達成に向けた取組を支援する指導
 - ・可能性を引き出し、情報を提供し、能力を開発する。
- 幅広い経験に基づく人間形成を図る指導
 - ・機会を提示し、取組を支援・指導し、主体性を育む。

◆ 堀川高等学校憲章

(生徒に求められる姿勢と行動)

- 多様な存在と価値を大切にし、時間と力を重ねて、ひとつになることをめざします。
- よりよいものを創出することを求め、困難に立ち向かい、工夫を重ねて一層の高みに向かうことをめざします。
- 誇り高く生きることを願い、自己を見つめ、力を蓄えて、自覚したひとりになることをめざします。

【アドミッション・ポリシー】

(入学時に求める生徒像)

多様な経験を通して得た学びを活用する能力と、自らの可能性を信じて高みをめざす態度を有する生徒

- 言語活動を通して、思慮深さ、正当な批判力と判断力と行動力を身につけようとする生徒
- 高い目標を見据え、他者との関係性を考えながら選択や判断を行い、自己実現を図ろうとする生徒
- 学校生活の多様な取組に意欲と関心を持ち、主体的に取り組む経験を通して人間形成を図ろうとする生徒

【カリキュラム・ポリシー】

(めざす目標・展開する教育活動・指導の観点)

生涯学び続けていく意欲と能力を備えた若者の育成にむけて、探究的な教育活動を展開する。よりよい社会を創造し先導するために必要な高い学力と豊かな知性を培い、感性を磨き、また、主体的に楽しみながら学びあい、振り返り、挑戦を重ねることを支援する。

- 各教科・科目や総合的な探究の時間に関する研究と実践、改善に取り組み、人文・自然・社会全般にわたる教養教育を進める。
- 他者との関係をふまえながら自分の「今」を見つめ「次」を描くことを生徒に求め、目標の実現に必要な能力と学力を養う。
- 学校生活全般においてさまざまな経験を重ねる機会を提供し、生徒がそれらの活用を通して人間形成を図れるよう支援する。

学年	First Stage		Second Stage		Final Stage	
	なれる	たのしむ	かえりみる	あそぶ	むかう	たつ
目標	謙虚に学ぶ姿勢を持ち、作法を身につける	他者と関わり、見聞を広げ、知性を育む	立ち止まり、振り返り、思索し、整理してみる	枠を超え、外を感じ、あれこれ挑んでみる	自己の展望を掲げ、支援を得て自ら歩む	総エネルギーを自覚し、力強く立ち向かう
所属感・社会性	「堀川を知り、堀川高校生になる」 学校は「小さな社会」であることの自覚 安心できる居場所づくりと他者への寛容さを		「堀川の核となり、先頭に立つ」 よりよい「小さな社会」づくり やわらかくつながり、自分の手による創造を		「堀川を語り、誇り、志高くはばたく」 自分らしく「大きな社会」へ 違いを認め自分を信じ、勇気ある一歩を	
学習姿勢	目標と目的を意識し、調整しながら謙虚に学ぶ		強みを知り、弱みに向き合い、改善に取り組む		ひとりで、仲間と、探究的に学ぶ力を発揮する	
進路目標 学力向上	「遠い未来」の設計/「近い未来」に向けた選択 言語活用能力を鍛えて		「遠い未来」へのこだわり/「近い未来」への方略 本質を見抜く力、多角的に考える力を磨いて		「遠い未来」への覚悟/「近い未来」の実現 可能性を切り拓く確かな学力を蓄えて	
探究基礎	「知らない」との出会い、「知りたい」のひろがり 学びの作法の習得と学問的関心の拡大		「問い」を立て「答え」を導く実践と振り返り 他に圧倒される体験が、自分たちを変えていく		「まだまだしたい」のワクワクする挑戦 これまでの手法や経験を活かした新たな探究 困難に立ち向かう、自己の可能性にかける	
学校行事 主体的活動	多様な取組をやってみる、遂げようとする		対話の重視、他者との協働、役割の認識 目標に向かう組織づくり、過程における学び		高度な汎用的探究能力を活かした実践 自分を越え、仲間と超え、最高の景色をみる	
文化祭	意思を持つ、全員でつくる、先輩から学ぶ		豊かに表現する、連なり重ねる、突き抜ける		さらなる知の海へ、躍動の壇へ	
次ステージへ	「2月から2年生」へ 自己を知り、可能性を感じ、自分の道を描く		「2月から3年生」へ 自己を掘り、目標をことばにし、挑む心を整える		生涯学び続ける学習者としての教養と人格を	

【グラデュエーション・ポリシー】

(卒業までに身につける力)

科学・文化の担い手、また、良識ある社会の担い手として、自己および人類の未来を切り拓く資質・能力

人間の文化や社会・行動、自然の現象や原理・法則などの社会的・学問的価値などを踏まえ、
幅広い教養を持ち、よりよい社会の実現や文化・科学・技術の発展を視野に、

- 目標を立てて、その実現に必要なことを想定し、方針をたてることができる。
- 社会の事象を多面的・批判的に検討し、課題に向き合い価値を創造し、論理的に表現することができる。
- 自分の力で、また、他者とともに粘り強く、自己を調整しながら取り組むことができる。